



コンピュータの ウイルス対策を確認しよう

- インターネット接続が当たり前になったいま、セキュリティ対策ソフトを入れないでパソコンを利用することは、非常に危険です。たとえていえば、細菌だらけの部屋に裸で入るようなもの。あっというまに感染して、病気になってしまいます。そこでもう一度自分のパソコンはセキュリティ対策は大丈夫か、見直してみよう。
- **コンピューターウイルスとは？**
電子メールやホームページの閲覧によってコンピュータに侵入する特殊なプログラムで、パソコン内にあるデータを勝手に書き換えて破壊したり、ウイルス付きのメールをばら撒いたりします。また、ウイルスプログラム自体がコピーを続けて増殖し、操作不能になったりします。ウイルスの行動は多種多様で、感染を拡大させるためにコンピュータ間で広まる機能を備えており、色々な弊害をユーザにもたらします。最近では感染率が非常に高くなっています。「自分は大丈夫！」と思わない事が被害を食い止める、はじめの第一歩です。
- **ウイルスの種類と感染経路**
ウイルス: 電子メールやホームページの閲覧によって感染するプログラムです。感染を拡大させるためにコンピュータ間で広まる機能を備えています。
ウイルスの中には、ファイルを消去したり、コンピュータを起動できなくしたり、パスワード情報を外部へ送信するものもあります。
 - ・**スパイウェア**: ウイルスとは異なり、他のコンピューターへの感染活動は行いません。PC 内に存在する情報を、許可なしに第三者に送信されます。悪質なものには、個人情報、パスワード、クレジットカード番号などが送信されます。
 - ・**ワーム**: コンピュータからコンピュータに自己をコピーするときに、ファイル転送やデータ転送の機能を利用して、自動的に行います。システムに侵入したワームは自力で移動し、自己を大量に増殖させることができます。ワームは宿主になるファイルやプログラムがなくても移動することができます。ワームをシステムに潜り込ませてインターネットを通じてコンピュータを遠隔制御できるようにする場合があります。
 - ・**トロイの木馬**: 役に立つソフトウェアのように見せかけて、実際はセキュリティを侵害し、大きな損害をもたらすコンピュータプログラムのことです。無償でダウンロードしたソフトウェアに含まれていることもあります。信頼できない提供元からは、ソフトウェアをダウンロードしないほうがよいでしょう。受け取った人が、正当な送信元からプログラムが届いたものと思い、うながされるままにプログラムを開いたときに広まります。

■ **ダウンローダー**: 悪質なプログラムに分類されるダウンローダとは、ユーザの知らないうちに、ほかのソフトウェアを勝手にダウンロードして実行／インストールするプログラムのことです。

ほかのソフトウェアをダウンロードし、インストールする以外にも、自身のアップデート版をダウンロードすることもあります。

■ **ボット**: 外部からの命令を待ち、その命令に従って何らかの動作(通常は、悪質な動作)をするプログラムを『ボット』と呼びます。インストールされたマシンを外部から自由に操作できるようにして、協調してある動作を行える複数のボット・マシンで構成された(仮想的な)ネットワークは「ボットネット(botnet)」や「ボット・ネットワーク(bot network)」と呼ばれます。同じような意味で、「ゾンビ(zombie)」や「エージェント(agent)」などがあります。

■ **電子メールの添付ファイル**: ウイルスの感染経路として一般的なものは、電子メールの添付ファイルです。電子メールの添付ファイルとして送信されたウイルスを誤って実行すると、そのウイルスに感染してしまいます。

対策は

- 1 見知らぬ相手先から届いた添付ファイル付きのメールは嚴重注意する。
- 2 添付ファイルの見た目に惑わされない

■ **ホームページの閲覧**: 普段何気なく行っているホームページの閲覧時にも、様々なウイルス感染への危険が潜んでいます。最近では、サービスプロバイダが提供する「Web メール(ブラウザ上からメールを送受信できるサービス)」を頻繁に利用するエンドユーザーが増えているため、ブラウザ経由によるウイルス感染の脅威は、以前よりも高まっているといえます。

■ **ファイルのダウンロード**: インターネット上のホームページなどで配布されているファイルがウイルスに感染している場合、それをダウンロードし実行することでウイルスに感染してしまいます。

また、ホームページを表示しただけでウイルスに感染してしまうものもあります。

■ **USBからの感染**: 多くのコンピュータでは、USBメモリをコンピュータに差し込んだだけで自動的にプログラムが実行される仕組みが用意されています。この仕組みを悪用して、コンピュータに感染するウイルスがあります。

■ **ウイルスに感染したらどんな症状が出る?**

- ・動作速度が突然遅くなる。
- ・正常に起動できない。
- ・画面(デスクトップ表示)がいつもと違う
- ・送信した覚えのない、ファイルが添付されたメールがある
- ・大切なデータが消えてる
- ・メニューなどの表示が壊れている(文字化けなど)
- ・数分後とにパソコンが強制終了・再起動する などなど

■ ウイルスに感染すると、パソコン内にウイルスが増殖していきます。ウイルスがもたらす被害として、パソコン内の大切なファイルが消される・盗まれるたり、個人情報や漏れたり、クレジットカードの番号などが盗まれて、身に覚えのない多額の請求がきたり、知り合いに二次感染させてしまったり、とさまざまです。

■感染に気が付いたらどうする？：

ウイルスに感染した場合はウイルスの種類とパソコンの状況によって、的確な対応をする必要があります。対応を怠ったり、間違った対応を行うと、パソコンの破壊が進んでしまったり、知り合いのパソコンへ被害を拡大してしまうからです。

まず、感染したパソコンを早急にネットワークから切り離しましょう。ウイルスは自分自身のコピーをネットワーク内のパソコンに送り始めます。また、インターネットにつながっていると、メールアドレスに登録しているアドレス宛に、ウイルスメールを送り続けます。モデムのケーブルや LAN ケーブルを抜く、無線のカードを外すなど、物理的に切断し、被害が広がらないようにします。

■ウイルス対策ソフトの選び方：

ウイルス対策ソフトの性能、つまりウイルスを検出・駆除する能力には、はっきりした差があります。

せっかく購入したソフトがウイルスを検出できないようでは困りますので、値段でウイルス対策ソフトを購入するのではなく、ウイルス・スパイウェアの検出能力・機能を確認して購入することが大事です。

ポイントは？

1. インターフェイスの使いやすさ：

ソフトは定期的にメンテナンスが必要なので、わかりやすく使いやすいことが大切です。

2. サポート体制の充実：

何かトラブルが起きた場合や、使い方がわからないときなど、すぐにサポートしてくれるのか、電話での問い合わせが可能かどうかなどを事前に確認しておいた方が良いでしょう。

■ソフト購入時の注意点：

・インストール可能台数

現在パソコン 3 台までにインストール可能となっているものが主流です。1 台しかパソコンがないのなら、同じメーカーでも 1 台用の製品を購入した方が安いからです、パッケージをよく見て購入しましょう。ただし、1 台用のものが無いメーカーもあります。

・更新期間：

同じメーカーでも更新期間が異なるパッケージを発売していることがありますので、よく確認することが重要です。1 年更新、2 年更新、3 年更新がありますが、お試しとして使うなら、1 年更新を買いましょう。すでに気に入っていて長く使いたいなら、更新期間が長いものほど割安になりますので、3 年更新を選びましょう。更新料 0 円というメーカーも登場しましたので、その影響からか、更新料は安くなる傾向にあります。

更新期間が過ぎるとウイルス検索をしてくれないのではないかとと思われるかもしれませんが、そうではなくて、今までのバージョンで検索はしてくれるのですが、更新料を払わないと、最新バージョンにアップすることができず、新種のウイルスやその他、アドウェアなどに対応できなくなります。更新は絶対に必要なので、その煩わしさから、3 年更新を選ぶ方が無難でしょう。

また、プロバイダーや通信回線業者が推薦し提供しているソフトもありますので、契約時によく調査しましょう。たとえば光回線を提供しているNTTなどは有料(月払い)で提供しています。

■インストールの注意点:

購入したパッケージソフトをインストールする際の注意点は、1 台のパソコンに異なるセキュリティ対策ソフトを入れてはいけないということです。2 個以上のソフトをインストールして使用すると、パソコンがフリーズする、メッセージが頻繁に表示されるなどの問題が起きる可能性があります。必ず、使用しない方をアンインストールする必要があります。

PC を購入した場合にお試し版がプレインストールされている場合も、そのソフトを使わないで別にソフトを購入する場合は、アンインストールしてから、新しいソフトをインストールすること。

■ 主なソフトと価格比較

名 称	効 果	動作の軽さ	有害サイト ブロック機能	サポ-ト 体制	対象 台数	価 格
ESET Smart Security	★★★★★	★★★★★	★★★★★	毎日	2台	3,500
Norton Internet Security	★★★★★	★★★★★	★★★★★	平日 のみ	3台	5,500
ウイルスバスター クラウド	★★★★★	★★★★★	★★★★★	毎日	3台	5,000
カスペルスキー 2013	★★★★★	★★★★★	★★★★★	毎日	3台	6,300
マカフィー インター ネットセキュリティ	★★★★★	★★★★★	★★★★★	毎日	3台	4,600

MEMO

■参照サイト(下記のサイトを中心に調査しその抜粋をまとめています)

<http://www.the-hikaku.com/security/hikaku.html>

<http://lhsp.s206.xrea.com/misc/antivirus-test.html>

<http://allabout.co.jp/gm/gc/1548/>

調査・文責 三宅 隆